

プロトキー[®]すい臓がんリスク検査

血液検査で

すい臓がんリスク を知ることができます



複数の検査の**組み合わせ**が
早期発見の糸口になります

すい臓がんについて

すい臓がんは他の癌と比べても、5年生存率が最も低い難治がんとして知られています。

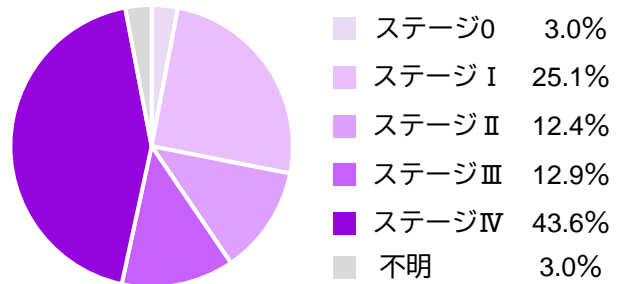
死亡数の多いがん

	1位	2位	3位	4位
全体	肺	大腸	すい臓	胃
男性	肺	大腸	胃	すい臓
女性	大腸	肺	すい臓	乳房

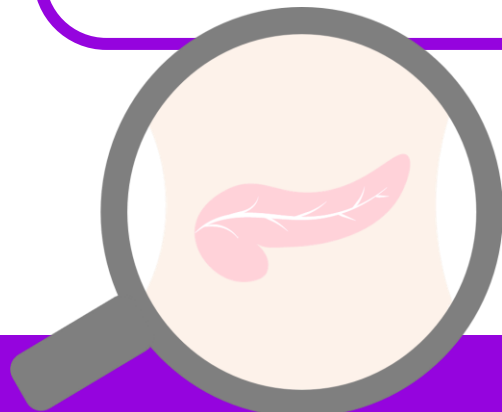
国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計)2024年より作図

難治がんと言われる理由のひとつに早期発見の難しさがあります。発見時にはステージ4まで進行していることが多いです。早期発見し生存率を高めるには、複数の検査を組み合わせることをおすすめします。

治療開始時のステージ



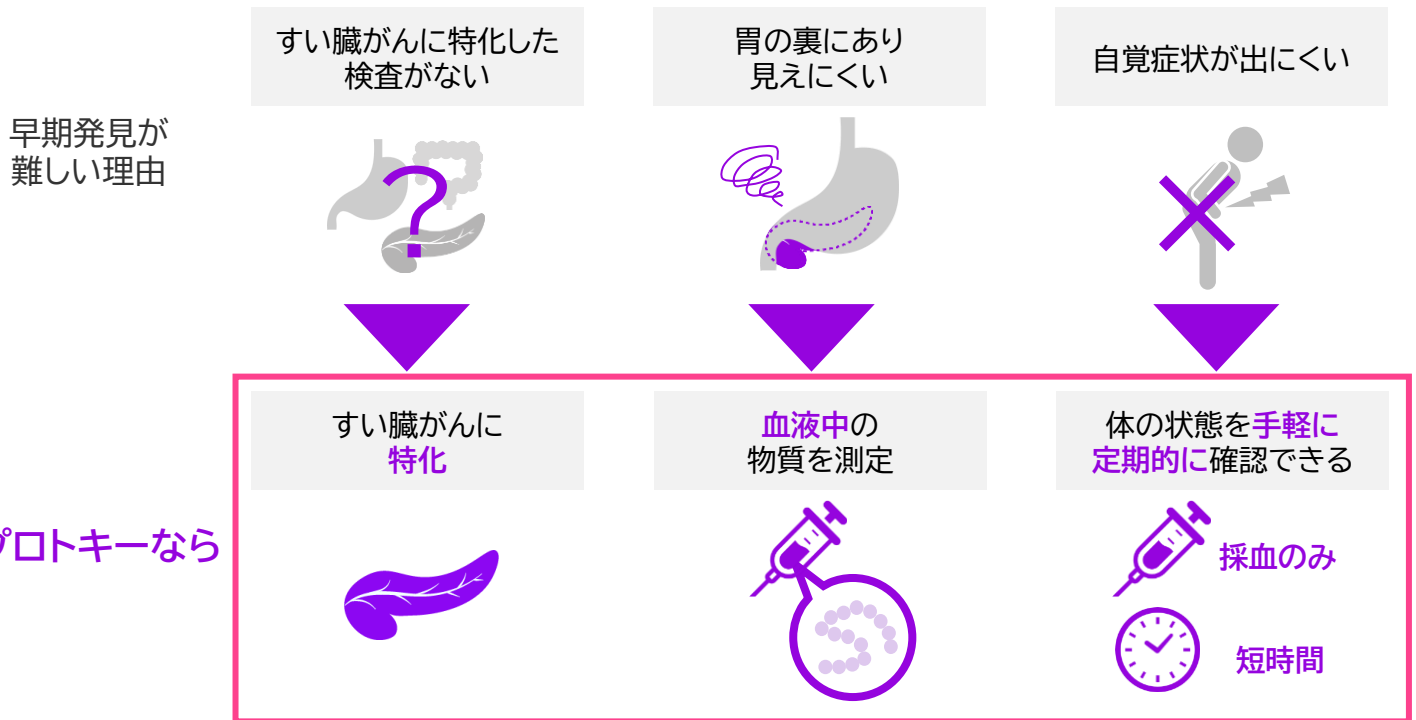
国立がん研究センターがん情報サービス
院内がん登録2023年全国集計より作図



症状がないうちに
現在のリスクをチェックしましょう
毎年継続して受診することが**大切**です

すい臓がんリスク検査って？

すい臓がん患者で増減がみられた血液中のペプチドを測定することにより、現在すい臓がんに近い状態かをリスク評価します。すい臓がんの早期発見に向けた課題を解決します。

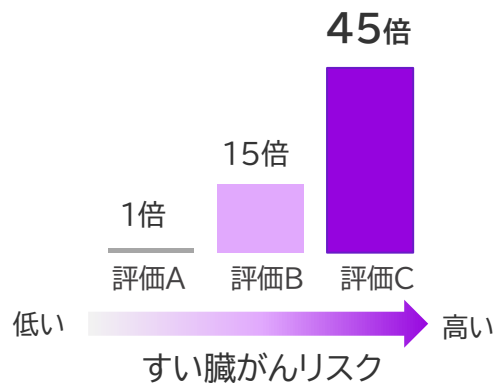


すい臓がんリスクが分かると？

すい臓がんリスク検査では、現在のすい臓がんリスクを3段階で評価します。

現在のすい臓がんリスクを知ることで、生活習慣の改善や二次検査の受診など、自分に合った対策が分かります。

※すい臓がんを診断するものではありません



※評価Aを1としたときのすい臓がんである倍率。開発元データ

このような方におすすめです

- ・いつもの健診だけでは不安
- ・大がかりな検査に抵抗がある
- ・手軽にリスクを知りたい
- ・右記のリスクを持っている

糖尿病

肥満

喫煙

大量飲酒

慢性すい炎

血縁者にすい臓がんの人がいる